

会員の皆様へ

山技振だより

No. 3

山陽技術振会

広報委員会・会事務局

Tel.(086)422-6655

Fax.(086)422-6656

sangisin@po.harenet.ne.jp

《主催イベント予告》

◎品質工学交流会

品質工学セミナーは昨年度で5年目を迎えました。品質工学を山技振の技術の目玉として定着させたいと考えております。セミナーを単に受講するだけでなく、それを実施した結果や、不明な点をもう一度お互いに勉強し直し、さらに講師を交えた受講者同志の意見交換などを通して、技術者同志のつながりができればと考えています。この件では、セミナー卒業生を中心にして、アンケートを依頼しており、それをもとにして「品質工学交流会」を近々スタートさせたいと考えています。また、本年度も品質工学セミナーを実施する予定です。

◎外国科学技術雑誌を読むグループ交流会

山技振の会員による新しいタイプの技術交流会として計画しています。1グループは10人で、2~3人の世話人を選出し、最初は比較的ポピュラーな英語雑誌" NATURE"、" SCIENCE"などを輪読します。近々この交流会の呼びかけ・ご案内を出します。英語が得意な人も不得意な人も大歓迎です。7月下旬~8月上旬スタート予定です。

《実施イベント報告》

◎新しい年度を迎えて、5月17日に総会が開催されました。総会で決められた方針にそって、企画活動委員会が5月20日に、広報・財務委員会が6月14日に、それぞれ開催され、平成11年度の活動の具体化が検討され、実施されます。特記事項として、熊井事務局長が病に倒れたので、常任副会長をおく件が総会で承認され、6月23日の理事会で、安井理事がその常任副会長に選出されました。

◎平成11年度の第1回バスによる見学会が6月17日に行われ、27名が参加しました。行き先は、兵庫県西播磨科学学園都市で「SPRING-8」という世界一の放射光設備を見学し、続いて粘着ラベルのトップメーカー「リンテック(株)」龍野工場を訪ね、製造プロセスと産廃処理技術について勉強しました。いずれも大変興味深い見学でした。

《会員の声・事務局の声》

◎"山技振だより" No.2で「どんな交流会に参加希望するか?」アンケートを出しました。これは山技振の方向として技術者同志の交流が大切であるとの考えからです。回答のFAXをポツリポツリいただいています。A型、B型、C型、どのタイプの技術交流会も、それぞれの価値と成果が期待されるので、それぞれ工夫をこらして実施することになりました。好奇心と冷やかしてもかまいません、交流会を覗いてみませんか?

◎山陽技術雑誌Vol. 46が久しぶりに発行されました。内容について感想、意見、提言など遠慮なくFAXやTELにてぶつけてください。

◎NAVIGATORをRIPPLEに変えました。さざ波、波紋の意味です。小さな波が、会員の皆様の共鳴を得て大波に成長させたいものです。

RIPPLE・・・

★山技振の財産、資源は何だろう?
それは、会員企業の高度な技術力と有能多才で豊富な人材でしょう。

★これからの山技振の役割は何だろう?

それは、会員相互の人間の橋のつながり"ヒューマンネットワーク"を構築し、新しい技術文化を創造することです。

ちよっと大げさですかね。

(企画活動、

広報・財務委員会での声)